

# あがの市議会だより

第47号

令和3年  
**3月**定例会号  
令和3年3月31日発行

## 主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会の活動報告	P3
市政を問う一般質問(15人)ほか	P4-7
意見交換会での意見ほか	P8



阿賀野市総合型クラブ Spore は、市民の皆さんが、いつでも、どこでも、だれでも、スポーツに親しめるよう、感染症予防に配慮しながらいろいろな教室を開催しています。



## 3月定例会が3月1日～3月19日の会期で開かれました

### 1日 本会議

- 施政方針・一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目(3人が質問)

### 4日 本会議

- 一般質問2日目(6人が質問)

### 5日 本会議

- 一般質問3日目(6人が質問)

### 8～10日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案を審査

### 12・15・16日 予算審査特別委員会

- 令和3年度各会計予算を審査

### 19日 本会議

- 予算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決
- ※ 議決結果は2ページ

## 議案ピックアップ

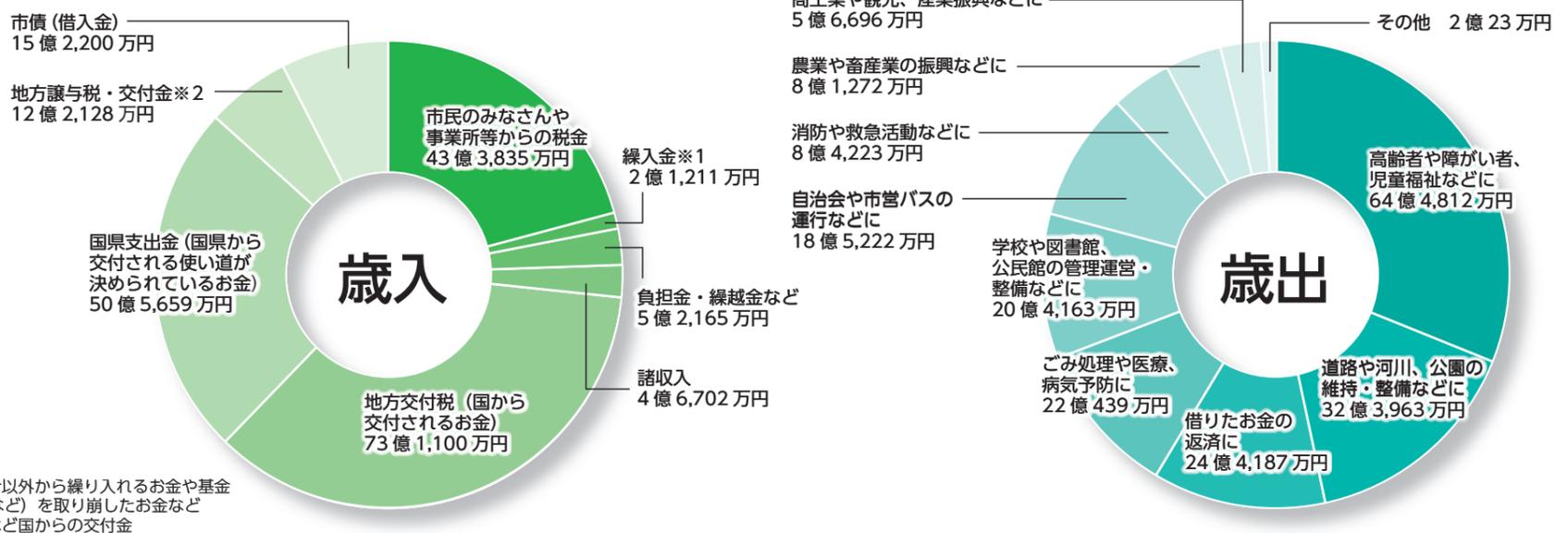
議案を議決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。審議した議案の中から令和3年度当初予算の内容をお知らせします。

## 令和3年度当初予算

令和3年度一般会計ほか8会計の予算は、議長を除く全議員で構成される予算審査特別委員会において3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも可決されました。

## 令和3年度 一般会計予算は206億5千万円 元気で明るく活力のある魅力的なまちづくりのために

「選択と集中」による規律ある財政運営



7つの政策における主な事業は2ページに掲載

## 【令和3年度各会計の予算状況】

会計名	歳入歳出予算総額	前年度対比(伸率%)
一般会計	206億5,000万円	△1.9
国民健康保険特別会計	41億7,612万8千円	2.4
後期高齢者医療特別会計	8億4,773万7千円	△0.5
介護保険特別会計	51億7,261万3千円	2.3
押切外四ヶ大字財産区特別会計	536万円	6.8
少年自然の家特別会計	3,448万7千円	3.5

事業会計	収益的収入	資本的収入	収益的支出	資本的支出
水道事業会計	12億9,645万3千円	3億7,742万円	11億8,556万7千円	10億2,566万6千円
下水道事業会計	19億6,029万3千円	11億9,078万円	18億4,882万9千円	17億616万円
病院事業会計	4億5,649万円	1億7,200万4千円	8億4,585万6千円	2億624万3千円

# 令和3年度当初予算 7つの政策における主な事業

## 議案ピックアップ

### 1 安全・安心な暮らしの実現

- 防犯灯維持・整備事業 **拡大**  
自治会管理防犯灯のLED化を促進するため、補助金の補助率を2分の1から3分の2に引き上げます。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 **新規**  
新型コロナウイルスワクチン接種推進室を設置し、ワクチン接種を速やかに行います。



### 2 子どもの育成支援の充実

- 出産育児助成事業 **拡大**  
現行の紙おむつプレゼント事業に加え、分娩費用に対し子ども1人につき4万円を助成します。
- 妊産婦医療費助成事業 **拡大**  
所得に関わらず、妊産婦全員に対して医療費助成を行います。
- 市立図書館パワーアップ事業 **拡大**  
児童図書の実用や施設環境整備を行い、市内外の子育て世帯が訪れる特色ある図書館として整備します。

### 3 高齢者や障がい者福祉の充実

- 介護予防ヘルスケアシステム活用事業 **新規**  
市の事業の未利用者や健診未受診者等を訪問して健康状態を把握し、健康寿命延伸のための支援を行います。
- 障害児・者紙おむつ等購入費助成事業 **拡大**  
常時紙おむつ等を使用している障がい児・者の紙おむつ等購入費に対して助成します。令和3年度から住民税所得割課税世帯にも対象を拡大します。

### 4 地域経済の活性化

- えだまめ集出荷選別施設整備費補助事業 **新規**  
縁玉（えだまめ）集出荷選別施設建設経費に対して助成します。
- 地場産業が息づく活力と賑わいのまちづくり事業 **新規**  
安田瓦協同組合および県・市が連携して、やすだ瓦ロードを整備します。
- プレミアム商品券発行事業 **新規**  
市民の消費意欲を喚起し、地域経済を活性化させるため、プレミアム商品券を発行します。

### 5 生活に密着した住環境整備の促進

- 結婚新生活支援事業 **新規**  
若い世代の結婚を後押しするため、アパートの家賃や引っ越し費用等に対して助成します。

### 6 市民協働の推進

- 自治会活動応援事業 **新規**  
自治会が抱える課題の解決に向けて地域住民が取り組む活動を支援します。

### 7 信頼される行政経営

- 証明書等コンビニエンスストア交付環境整備事業 **新規**  
市役所窓口で発行している住民票や印鑑登録証明書、税証明などをコンビニエンスストアで発行できる環境を整備します。
- コンビニエンスストア収納事業 **拡大**  
キャッシュレスサービスを利用して、市税を自宅で納付できる環境を整備します。

## 3月定例会の議決結果をお知らせします

### 全会一致で議決した議案等

	議案名	審査した委員会※	議決結果
人事	阿賀野市教育委員会委員の任命について(酒井 里佳子 氏)	省略	同意
専決	令和2年度一般会計補正予算(第13号) 令和3年2月2日専決	省略	承認
令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第14号)	省略	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	省略	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	省略	可決
	介護保険特別会計補正予算(第6号)	省略	可決
	押切外四ヶ大字財産区特別会計補正予算(第1号)	省略	可決
	少年自然の家特別会計補正予算(第3号)	省略	可決
	水道事業会計補正予算(第3号)	省略	可決
	下水道事業会計補正予算(第4号)	省略	可決
	病院事業会計補正予算(第3号)	省略	可決
	一般会計補正予算(第15号)	省略	可決
条例	阿賀野市手数料条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市森林環境譲与税基金条例の制定について	産建	可決
	阿賀野市公民館条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市郷土資料館条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市国民健康保険条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市介護保険条例の一部改正について	社厚	可決

	議案名	審査した委員会※	議決結果
条例	阿賀野市都市公園条例の一部改正について	産建	可決
	阿賀野市道路占用料徴収条例の一部改正について	産建	可決
	阿賀野市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部改正について	産建	可決
その他	工事請負契約の変更について(堀越小学校長寿命化改良建築工事)	総文	可決
	工事請負契約の締結について(「道の駅(仮称)あがの」建築工事)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市農業総合管理センター)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市笹神農林研修所)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市ゆうぎセンター)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市笹神地区農産加工所)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市農産加工食品貯蔵庫)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(宝珠温泉保養センターあかまつ荘及び安田農村環境改善センター)	省略	可決
請願	既設消雪パイプの改修についての請願	産建	採択
	「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	産建	採択
発議	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	省略	可決

※省略：本会議で即決したもの  
 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会  
 産建：産業建設常任委員会 予算：予算審査特別委員会  
 ◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

### 意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(市川英敏)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	新風あがの											会派の所属なし				
			公明党	日本共産党			新風あがの					会派の所属なし						
			村上清彦	宮脇雅夫	岡部直史	松崎良繼	山口功位	風間輝榮	大滝勝	百部順也	加藤博幸	遠藤孝	荒澤浩和	遠藤智子	近山修	清野栄一	天野市榮	
令和3年度阿賀野市一般会計予算	予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
討論(要旨)	反対意見	新型コロナウイルス感染予防の設備助成、瓦ロード事業等は評価するが、感染対策のPCR検査に消極的、マイナンバーカード普及推進は、個人情報の漏えいや監視社会につながる。学校給食の民営化やセンター化、公共施設の廃止・中止は、慎重に判断する必要がある。鳥獣害の被害対策も前進なし。																
	賛成意見	新型コロナウイルス感染症で日々いろいろな事業が中止になっている中、やすだ瓦ロードには多くの人が訪れている。これから阿賀野バイパスや道の駅ができるが、やすだ瓦ロードが起点となり起爆剤になればと考え、整備事業を含むこの予算に賛成する。																
阿賀野市公告式条例の一部改正について	総文	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
討論(要旨)	反対意見	合併時の協定に反し支所が存続している。支所が存続している以上、支所に設置している掲示場は廃止すべきではない。利用(閲覧)実績がないとの理由で廃止するというが、何時でも利用できる環境を整えておくことの方がむしろ大事。																
	阿賀野市学校給食センター条例の一部改正について	省略	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
討論(要旨)	反対意見	調理職員の退職原則不補充の政策の下で学校給食の調理民間委託、給食センターからの配送に切りかえていくことは、教育の一環としての給食本来のあり方から賛成できない。																

## 総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

1月22日に所管事務調査を行いました

### 阿賀野市の地域防災について

全国各地で毎年のように大規模災害が発生していることから、国では防災関係法令等の改正、防災基本計画の修正、災害対策に関する各種指針の改定等を行ってきました。新潟県においても国の動向を受けて地域防災基本計画の修正など、防災力の強化を推進しています。こうした背景から、本市では令和2年3月に阿賀野市地域防災計画の全部改定を行いました。全部改定の主な目的は、以下の2点です。

- ①国や県で定められた関係法令および上位計画との整合性の確保
- ②市独自規定および災害対応体制の見直し

地域避難場所、指定緊急避難場所、指定避難所を規定したほか、災害対応としての警戒本部の規定や職員の配備体制の見直し等を行ったものです。説明後の質疑では、1月上旬の大雪に関連し、道路の除雪、自主防災組織、スクールバスの運行や保護者への連絡など、雪害対応について様々な角度から



阿賀野市地域防災計画の改定内容を聞く

質疑が行われました。特に阿賀野市で警戒本部・対策本部の設置を形式的には行わなかった点について、複数の質問が出ました。また、要介護者等への対応について、避難行動の具体的な検討がなされているか、情報伝達手段がどのように確保されているか等も質疑されました。意見集約では、主にこのたびの雪害への対応から見えてきた問題点・課題について意見が交わされました。その根本にあるものは、市民の目線に立った対応であります。連絡の窓口を明確にし、部署・組織間の情報の共有・統制を徹底し、積極的かつ効果的に市民への情報発信を行うために、警戒本部・対策対策本部の設置を機敏に行える体制づくりが急務であると意見集約されました。

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)  
(1) 堀越小学校長寿命化改良工事について  
(2) タブレット端末を活用した教育について

## 社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

2月3日に所管事務調査を行いました

### 五頭連峰少年自然の家の今後の活用について

五頭連峰少年自然の家は、五頭連峰県立自然公園内にあり、子どもたちのびのびとした成長や豊かなところをはぐくむ活動の拠点として、昭和50年にオープンしました。利用者数は、多少の増減はあるものの令和元年度までは少子化の影響により微減傾向でした。令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、例年の30〜40%の利用となったとのことです。オープンから45年が経過し、建物には老朽化が見られる部分もあります。令和2年度は新型コロナウイルス対策として全トイレの洋式化自動水栓化およびポイラー入替更新、WiFi環境の整備、雨漏りの修繕が行われる予定です。担当課では、施設名にある「少年」に限らず対象者を拡大するような事業展開、ボランティアスタッフ等の育成のほか、料金や減免措置の見直しなど収入についての再検討、施設の老朽化等への対応などが課題であると考へており、収支改善を図り経営が安定した状態を目指してがんばっていききたいとのことでした。委員からは、「宣伝効果を考へて、我々ができることがあれ

ば協力したい。」「空調設備も老朽化しているので、個別のエアコンなども検討してはどうか。」「貴重な施設である。採算を取れるように、市民から親しまれるように、一般市民や他市町村にもPRして利用が増えるようにする必要がある。」「体育館の耐震は特に命に関わる問題なので早めに工事をしたほうがよい。」「青少年に自然に親しんでもらうという設置目的がある施設であり、教育の一環。収支だけの問題ではない。」などの意見がありました。



自然の家の施設内を見ながら執行部に質問

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)  
子どもの貧困対策について

## 産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

1月28日に所管事務調査を行いました

### 道の駅整備事業について

令和4年開業を目指している道の駅(敷地面積約3・3ha)事業の現状について調査を行いました。工事の発注準備が進められ、工期は令和3年4月から翌年3月の見込みです。施設概要については「人の流れを上手く取り込む」という点を重視した設計となっています。地場産品等の物販コーナー、ガラス張りで開放的なフードコート形式の飲食スペース、未就学児対象のプレイルームや授乳室があり、子育て世代に配慮されています。ほか、無料休憩所、観光情報発信スペース、また道の駅と24時間トイレの間に、各種イベントにも活用できる屋根付き広場が設けられ、これら一連の施設はバリアフリーに対応しています。屋根材は地元特産の安田瓦を用い、五頭連峰の山並みを連想させる造りとし、駐車場は小型・大型・障がい者用等を含め156台が駐車可能です。設備概要については電気設備は、非常用発電機を設置し、照明やコンセントの一部、自動火災報知機、防災アンテナ等に対応し、防犯の観点から監視カメラが設置されます。大便器のリモコンや小便器の感知センサーは自己発電タイプを採用し、停電時も利用可能です。衛生器具設備は超節水タイプで、大幅な水量削減が図られることや、コロナ対策等にも効果的な、省エネ型全熱交換型換気扇が設置されます。委員会では、指定管理者の早期会社設立と体制・運営計画の確立等を要望し、計画性を持って協議を進めていくよう申し添えました。

令和4年開業を目指している道の駅(敷地面積約3・3ha)事業の現状について調査を行いました。工事の発注準備が進められ、工期は令和3年4月から翌年3月の見込みです。施設概要については「人の流れを上手く取り込む」という点を重視した設計となっています。地場産品等の物販コーナー、ガラス張りで開放的なフードコート形式の飲食スペース、未就学児対象のプレイルームや授乳室があり、子育て世代に配慮されています。ほか、無料休憩所、観光情報発信スペース、また道の駅と24時間トイレの間に、各種イベントにも活用できる屋根付き広場が設けられ、これら一連の施設はバリアフリーに対応しています。屋根材は地元特産の安田瓦を用い、五頭連峰の山並みを連想させる造りとし、駐車場は小型・大型・障がい者用等を含め156台が駐車可能です。設備概要については電気設備は、非常用発電機を設置し、照明やコンセントの一部、自動火災報知機、防災アンテナ等に対応し、防犯の観点から監視カメラが設置されます。大便器のリモコンや小便器の感知センサーは自己発電タイプを採用し、停電時も利用可能です。衛生器具設備は超節水タイプで、大幅な水量削減が図られることや、コロナ対策等にも効果的な、省エネ型全熱交換型換気扇が設置されます。委員会では、指定管理者の早期会社設立と体制・運営計画の確立等を要望し、計画性を持って協議を進めていくよう申し添えました。



道の駅整備状況について調査

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)  
阿賀野バイパス工事の進捗状況について



無会派 近山 修



### 雪害に対する除雪対応と今後の対策について

**質問** 正月から降り続いた大雪は予想をはるかに超え、市の除雪計画では対応しきれなかったことと思われるが、今後も大雪になる場合が考えられる。以下7項目について伺う。

①豪雪対策本部がなぜ設置されなかったのか伺う。

**答弁** 積雪により住民の生命・身体および財産に甚大な被害が発生するおそれがある場合に設置する。各部長、建設課、危機管理課による警戒本部体制に準ずる体制で十分な対応ができるかと判断した。



新風あがの 荒澤 浩和



### 新型コロナウイルス ワクチン接種について

**質問** 一般市民の接種会場の予定を伺う。

**答弁** 旧4か町村に各1会場で4会場を作る予定。

**質問** 市民に対しての周知方法と確認方法を伺う。

**答弁** 個人宛にワクチン接種券と予約券およびワクチンの説明書を送付する。なお、接種日時や会場をお知らせする方法は、個人宛の通知およびホームページへの掲載を予定している。

**質問** ②市の建設業者は人員確保が非常に厳しい状況で、除雪の要員確保がむずかしい状況なのか伺う。

**答弁** 市内業者の多くはオペレーターの確保が難しいことから、これ以上除雪機械の台数を増やすことは困難である。

**質問** ③県道の除雪が1車線しか確保されていないため、車のすれ違いができず、渋滞や通行止めが多発した。ところどころにすれ違いの待避所を設ける除雪ができるか伺う。

**答弁** 早期の2車線確保が困難な路線区間については、沿線の状況を勘案して待避所の確保を検討するという県の返答であり、要望する。

**質問** ④市道、県道、国道と除雪業者の違う路線が交差する場所の除雪の連携を伺う。

**答弁** 市の除雪会議において、後から除雪する機械が処理する

### 今冬の除雪降雪の被害について

**質問** 除雪車両の対応状況を伺う。

**答弁** 市の除雪計画では、88台の除雪機械で市道および歩道の除雪を行っており、昨年12月10日から2月15日までに31回の出勤依頼を行い、のべ1,569台の除雪車が除雪を行った。

**質問** 屋根の雪下ろし作業事故の発生状況を伺う。

**答弁** 作業事故は6件で、そのうち屋根からの転落が3件、はしごからの転落が2件、カーポートのプラスチック製屋根が抜け落ちたことによる転落が1件である。このうち、骨折の重傷者が3人、軽症者が3人である。

### 学校現場でのタブレット活用について

**質問** 令和2年度にGIGAス

申し合わせになっている。

**質問** ⑤消雪パイプは設置してあるが、水の流れる道ができる。そこ以外は雪は消えない。個人の自宅まわりの雪を個人や自治会に処理をおねがいできないか伺う。

**答弁** 自宅前の雪を危険のない程度でいじってもらうことにより効果を発揮するが今のところ要請は考えていない。

その他、⑥農業被害について、⑦消防車、救急車の出勤について、質問した。



無会派 遠藤 智子



### 「ヤングケアラー」の実態調査と支援について

**質問** 大人に代わって家族の介護や世話に当たる子どもたち(ヤングケアラーと呼ばれる)は学校生活や自分の健康、生活に支障が出るおそれがあるとされ、その子どもや若者を支えるため、厚生労働省は文部科学省と協力し、昨年末に全国規模の実態調査に入り、年度末までにまとめ、支援等の検討に入ることだが、当市は調査対象校となつたのか。対象校外であった場合、市独自の取り組みや実



新風あがの 加藤 博幸



### 新年度予算編成について

**質問** 成果を期待する分野は何か。

**答弁** 減収が見込まれる中、財源の選択と集中により「人口減少対策」「地域活性化対策」「デジタル化推進」「新型コロナウイルス感染症対策」に取り組む。

### 職員数と業務のデジタル化

**質問** 職員数の不足の声も。デジタル化は要員数減でなく。

**答弁** 1.5%ずつ人口が減少。見合う職員数としてある。デジタル化で業務の効率化、作業負担の軽減を図る。

態調査の考えを伺う。

**答弁** 国の調査対象校とはならなかった。また、現時点での独自調査の考えはないが、今後、国の調査結果を注視し、調査前にヤングケアラーに対する共通認識が図れるよう、事例を通して、関係者の認識を深め、ヤングケアラーと思われる子どもへの適切な把握と支援に取り組みたいと考えている。

### 防犯灯の整備について

**質問** 国道290号から山手ライセンサー前、宝珠温泉に至る道路には、防犯灯がなく日暮れの早い季節は、まっ暗な林の道を通り抜けていくため、宝珠温泉には怖くて行けないなどの声も聞かれ、宝珠温泉利用者増加対策や周辺集落の市民の夜間



防犯灯が設置されていない国道290号からあかまつ荘への道

の通行の安全・安心を考慮した防犯灯整備の検討が必要と考え、見解を伺う。

**答弁** 市が設置の防犯灯は、主に生活道路の事故防止および犯罪の抑止を目的に通学路や公共施設周辺などを優先し、計画的に進めている。指摘の路線は通学路の指定外であり、市による防犯灯の設置計画も現在ないが、地域の実情を熟知している自治会と情報共有を図りながら、地域の安全確保のため防犯灯の整備について検討したい。

### 介護の担い手問題

**質問** 既に2015年時にはヤングケアラーの問題は提起されていた。スピード感を持った対応が必要では。

**答弁** 承知していなかった。関係者の認識共有を図りたい。

### ゼロカーボンへの対応

**質問** 再生可能エネルギーの積極的な導入を進めるとしているが、具体的内容は。

**答弁** 年間約5万1千kWhの太陽光を水原中、葬斎場で利用。今後、一般廃棄物中間処理施設で1千2百万kWhの発電を計画。市役所自らも脱炭素社会実現に努める。税制優遇措置を講じ、企業の誘致・支援を展開中である。





無党派  
清野 栄一



## 雪害について

**質問** 日本海寒帯気団収束帯により、水原で1月9日95cm、10日82cmの降雪、特豪地域の高田(9日103cm新記録)並みの降雪。道路も国道290号21時間460号では計25時間以上の交通止、このような状況なのになぜ対策本部を設置しないのか、雪害対応と課題等について伺う。

**答弁** 警戒本部に準ずる体制で除雪対策にあたった。課題は道路交通の確保、消雪パイプの更新、市民の雪下ろし受託者の確保。



新風あがの  
風間 輝榮



## 大雪の除雪体制について

**質問** 災害から学び検証して、今後どのように生かしていくのか伺う。

**答弁** 消雪パイプ路線では、地下水の低下等により消雪パイプの効力が発揮できないところに雪が残り、必要に応じて機械除雪を行った。消雪パイプの更新計画を策定し計画的に更新しているが、来年度に向けて精査を行いたい。また、今冬の除雪対応を検証し、迅速かつ適切な除雪対応ができるよう、機械除雪計画の一層の充実を図り冬期の円滑な道路交通を確保したい。

## 公共施設の再編整備について

**質問** 本市では、平成29年2月「公共施設等総合管理計画」を策定。国は実効性を担保するよう令和3年度中の計画の見直しを指示。そこで①年頭訓示における今年度中の解決とは②リズムハウスおよびあかまつ荘の課題と今後の取り組みを伺う。

**答弁** ①保有施設の再編等の方向性を示すこと②リズムハウス「新型コロナウイルスの影響で休業、今後の活用は新型コロナウイルスの状況を見ながら検討する。」あかまつ荘「財政負担が課題。」

**質問** 「リズムハウス」新型コロナウイルスによる窮状であれば適切に支援を行うべき。入浴の希望者もいる。早期の再開を望む。

**答弁** 入浴者は一握り、出湯、村杉に行けばいい。

**意見** 足がなく自力で行けない人もいる、配慮が必要。

## 道の駅整備効果等について

**質問** 12月に整備費17億円が示されたが、道の駅の経営環境は厳しい。そこで①経済波及効果(ア建設投資による波及効果、イ来訪者の消費支出による波及効果)②整備費が3年前の2倍に増高した理由

**答弁** ①建設効果12億円、消費効果年3億円 ②土木工事の増額。

**質問** 直接効果ではなく波及効果を通告している。

**答弁** 建設投資波及効果は12億円の1.8倍(消費波及効果は答弁なし)。

**意見** なぜ出さないのか、他では公表しているところもある。



## 新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況について

**質問** 政府は4月から65歳以上の高齢者、基礎疾患のある人、一般の人を対象に順次ワクチン接種を進めていく予定。当市の準備状況と課題について伺う。

**答弁** 65歳以上の方への接種体制について、医師会阿賀野支部と協議を行っている。ワクチンの供給スケジュールが国から示されていないため接種の日程が決まらず、市民への周知ができないこと等が課題であり、引き続き、国・県から示される情報をもとに、医師会阿賀野支部やあがの市民病院と協議し市民が安心して接種を受けられる体制の構築に努める。



## 「空き家」対策について

**質問** 空き家の解体・撤去などが思うように進んでいない要因と、解決に向けてどういう支援策が有効なのか伺う。

**答弁** 除却が進まない要因として、第一に解体等に係る費用負担が大きいことが考えられるが、除却後の土地活用が図られないことや所有者の高齢化等にも起因するものと考えている。昨年7月に専門家で構成する「阿賀野市空家等対策協議会」を設置し、9月には同協議会の意見を踏まえた「阿賀野市空家等対策計画」を策定した。今後は、他市町村の事例等も参考に同協議会委員の意見を聴取しながら、有効な対策を検討する。

## 空き家対策について

**質問** 高齢者世帯だけでなく核家族や単身世帯の増加などにより、今後管理不全の空き家はさらに増加していくと予測される。地域住民の生活環境を守るために、本市としてはさらに踏み込んだ体制づくりが求められる。そこで、以下3点について伺う。

- ①当市のこれまでの取り組みの成果
- ②直近の調査結果に基づく当市の空き家の現況と課題
- ③空家等対策計画からの今後の方向性



新風あがの  
百都 順也



**答弁** ①令和2年末までに助言や指導を行った件数は312件に達している。今年度は年末までに22件を行い、うち15件で改善された。また、空き家・空き地バンク制度の成約実績も伸びている。

②本市が把握している件数は令和元年度末において603件で、平成27年調査の700件から97件減少している。この603件中管理不十分と判定した空き家は526件で、平成27年の613件からも減少している。課題としては、様々な要因が重なり、空き家の除却や活用が進みにくくなっている情勢を踏まえ、市として有効な指導・助言ができる体制を早急に整備することと考えている。

③本計画は「空き家等の発生の抑制」、「空き家等の流通・活用の促進」、「適切に管理されていない空き家等の解消」の3つ



新風あがの  
山口 功位



## 新型コロナウイルス対策と今後の経済対策は

**質問** 新型コロナウイルスワクチン対策室を設置したが、どのような手順で対応していくのか、また感染が落ち着いたら市として独自の経済支援は考えているのか伺う。

**答弁** 医師会阿賀野支部やあがの市民病院と協議し、接種体制の構築に努めていく。経済支援についてはプレミアム商品券の発行事業および新型コロナウイルス感染拡大防止対策推進支援事業を実施する。

**質問** プレミアム商品券のほか、料理店や旅館に特化した事に、

の基本方針により対策を進める。

**質問** 管理不全の空き家に対し、助言・指導等を特別措置法に則った有効な措置として行うには、「特定空家」を認定する体制が求められる。認定の実績と、体制づくりの具体的な進捗状況を伺う。

**答弁** 本市ではまだ特定空家の認定実績はないが、今後は対策協議会の意見も踏まえ、より具体的な体制づくりを急ぐところである。



大雪などで屋根がおちた空き家

業の実施は考えていないか。

**答弁** 公正公平な事業としてプレミアム商品券を発行する。困っているのであれば、いろいろなアイデアやサービスを考え、PRに努め、お客様を呼び込んでほしい。

**質問** GoToトラベルが始まる前に阿賀野市は旅館業への支援を行ったが、そのような事業をまた実施してはどうか。

**答弁** すべての業種が困っていることをご理解いただきたい。それぞれの意欲を持った取り組みを期待している。



## 大雪による農業施設等の被害について

**質問** 昨年の暮れから年明けにかけて降り続いた大雪による農

## 鳥獣害対策について

**質問** 一つの自治体、個々の集落単位で解決できる問題ではないので、隣接する市、町、各集落と連携を図り広域的に取り組むべきではないか。

**答弁** 隣接集落と共同で行う方が効果の上がる対策については、積極的に取り組んでいく。また、各地域振興局にも鳥獣被害対策チームを設置し連携していく。



日本共産党  
松崎 良繼

### 異常豪雪への対応は

**質問** 災害に際しては空振りを恐れずに全力を上げることが大切だ。豪雪対策本部も警戒本部も設置しなかったのはなぜか。

**答弁** 警戒本部体制に準ずる体制で十分と判断した。私自身の判断が甘かったと思っている。

**質問** 地球温暖化の影響などでドカ雪が起りやすくなっているともいわれる。除雪体制のいつその強化が必要と思うがどうか。

**答弁** 今冬の除雪対応を検証した上で見直す。

**質問** 今回のような豪雪では消雪パイプの機能が発揮できないところもあった。交互散水のと



新風あがの  
大滝 勝

### 道の駅に設置する遊具について

**質問** 来年完成予定の道の駅の公園に、インクルーシブ遊具、障がいのある子どもと健全な子どもが、一緒に遊べる遊具の設置について伺う。

**答弁** 道の駅に併設する公園は、にぎわいの創出とともに防災拠点として活用することを目的に整備するものである。この公園は、全面を芝生張りすることで、通常時は年齢を問わず自然に触れながら自由に遊びや運動をすることができると多目的広場として、また当市や周辺の自治体に災害が発生した場合に

ころなども含め今後の対策は。  
**答弁** 井戸の能力を検証し、切り替え時間や散水量の調節などの対策を講じる。

### 高齢化核家族化に対応した雪対策を

**質問** 高齢者世帯等への雪下ろし助成制度、自治会による玄関先除雪支援補助金制度は対象が限られ、支援額も十分でない、見直しを。

**答弁** 自分でできるものは自分でやっていたら。労力的・経済的に困っている方をしっかりと支援する。

### 命綱アンカー設置に補助を

**質問** 労働安全法制が厳格化される。雪下ろしの際に命綱を取り付けるアンカー装置設置への補助制度を作る考えはあるか。

**答弁** 住宅リフォーム支援制度を利用していただきたい。

は、復旧等に携わる支援部隊が活動するための拠点として活用することが可能となり、防災とにぎわいの創出の両面での機能を発揮できると考えている。遊具については、こうした場所を確保した上での整備となるが、まだ具体的な整備計画は決定していない。提案された遊具は、今後検討する上で参考とする。



**質問** 住宅リフォーム制度は20万円以上の工事が対象で、工事費が10万円から20万円のアンカー設置工事には実情に合わない。独自の補助制度を実施すべきだ。

**答弁** どれだけ需要があるか、今年の雪を教訓に市民もどれだけ認識があるか確かめて検討する。

### 農業被害に上乗せ支援を

**質問** パイプハウス倒壊などの被害が多発した。再建する農家への補助制度に市独自の上乗せ支援を。

**答弁** 市の上乗せ助成・独自支援について検討する。



国道290号を除雪するロータリー車

### 大雪による農業用ハウス等の被害について

**質問** 今年の大雪で市内の農業用ハウスや施設に被害があったと聞いている。当市における被害状況と国の救済が受けられる状況を伺う。

**答弁** 2月16日現在で、骨組の被害を受けたパイプハウスが56棟、農業用建物被害が11棟、ハウス倒壊による農作物被害が3件となり、被害総額が約一億円である。国、県の支援に対する市の対応は、農林水産省が農業用ハウスの再建や修繕など、被害を受けた農家へ支援策を示したので、営農再開の意欲のある被災農家の意向を確認し要件に該当する事業の活用を支援したい。なお県が農林水産業振興資金を設定したので、市では被災した農家がこの資金を利用してできるように利子補給を行う。



日本共産党  
岡部 直史

### PCR検査の拡充で新型コロナウイルス感染症の防止を

**質問** 新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言でも、比較的若い年齢層では、感染しても症状が無いことも多く、気が付かずに家庭や高齢者施設にも感染を広げ、結果として重症者や死亡者が増加する原因の一つになっていることが指摘されている。また、感染力が強い変異株による感染者数は、新潟県が全国で三番目に多い。無症状者への検査が重要だ。

介護施設での発生例が多いことから、介護施設職員や新規入所者、訪問ヘルパー等への検査

を重視することを伺う。

**答弁** 高齢者等新型コロナウイルスPCR検査助成事業が国から令和3年度の継続の通知があり、介護施設へ周知して新規入所者への検査にもつなげていく。

職員については国の助成制度があり、施設事業者からの意見を聞きながら判断したい。

**質問** 障がい者施設、学童保育施設へ感染防止のための衛生用品や備品の補助金、職員への慰労金の支給について伺う。

**答弁** 各施設に従事される方々の細心の注意により感染が防止されている。かかる費用について支給は必要だ。



**質問** 同一世帯で複数交付している家族では共通券として使える柔軟性のあるタクシー券にできないものか伺う。

**答弁** 市発行の福祉タクシー券は、交付対象者の32%に交付。その中の7.7%（15世帯30人）が同一世帯での交付であり、今後利用者の意見を聞きながら利便性の良い制度になるよう検証する中で改善を図っていく。

### 阿賀野市在住の外国人の人たちについて

**質問** 遠く故郷を離れ、慣れない土地で暮らしている技能実習生皆さんの心と体をケアするための文化的交流会を、新型コロナウイルスが終息したのちのプランとして考えてみてはどうか。

**答弁** 実習生が勤める各事業所内において、社内でのコミュニケーション活動や市内イベントへの参

### リズム・ハウス瓢湖の休館について

**質問** 突然の休館に多くの利用者は戸惑っている。せめて入浴だけでも再開できないか。瓢湖水きん公園のなかで、大切な宿泊・入浴施設という考えで対処してもらいたい。

1か月に約1,100人が入浴のみで利用している。

**答弁** このたび、指定管理者からコロナ禍の影響で利用者が半減し、経営の見直しも立たず、管理指定の取り消しの申出があり、休館はやむを得ないと判断した。

今後の施設再開にむけては、状況を見ながら施設運営の手法等を早急に検討したい。

### ◆その他の質問◆ プレミアム商品券の公平な運用を

加など、それぞれ事業所単位で実施しているとのこと。市としての文化的交流会について現時点では考えていない。

### 市役所玄関前の敷地内の整備について

**質問** 市営バス停のバス待ち用ベンチと中央ロータリー周りのベンチ設置で市職員と市民の憩いの場所にしてはどうか。

**答弁** 市営バス停のバス待ち用ベンチについては、利用状況を把握して検討する。



市役所庁舎前の市営バス停



日本共産党  
宮脇 雅夫

## デジタル化推進で監視社会となり、大企業に利用される

**質問** 「マイナンバー事業」の推進では、マイナンバーカードとキャッシュレス決済を紐づけし、預金口座、金融資産の企業の活用が可能になる。また、3月からカードを健康保険証として使用可能とする。さらに、運転免許証、税金、社会保険料、水道光熱費、消費行動、性向、医療情報(疾病記録・受診歴、医療費支払状況)との紐づけも計画され、監視社会になる危険がある。カードの紛失・盗難で、個人情報漏えい、「なりすまし」犯罪リスクの増大も危惧される。



無党派  
天野 市榮

## あがの市民病院における救急医療(救急告示病院)の復活について

**質問** 市民病院が開院して丸5年が経過したが、この間、運営主体である厚生連の医療ネットワークや市が独自で始めた新潟大学寄附講座の設置、また、医師確保を目的にした田中市長の節目、節目の新たな医学部への訪問によって、徐々にではあるが常勤医師が増えている。任期中の救急告示復活に向けて、今こそ政治的リーダーシップを発揮すべき好機と考えるが如何か。

**答弁** 更なる医師確保に取り組み、救急告示の早期復活に向け

国の地方制度調査会では、自治体の個人情報保護条例を「円滑なデータ流通の妨げ」としており、民間企業の個人データ活用を優先しているが、見解はどうか。

**答弁** マイナンバーカードの普及率は20.7% (2/14現在)。個人の権利利益を保護した上で、個人情報を活用することは、地方創生や地域課題の解決に資するものと考えている。

## 生活保護の「扶養照会」は本人希望で

**質問** 生活保護は、親族に援助が可能かの「扶養照会」がおこなわれ、利用すべき人が「家族に知られたくない」とあきらめる元凶の一つ。本人が希望する場合だけ「扶養照会」してはどうか。

**答弁** 法令と通知に従って実施している。

## 道路除雪体制と消雪施設(消雪パイプ)の整備について

**質問** 合併前の旧4か町村時代に敷設され経年劣化した消雪パイプについては優先的な修繕や更新が必要と考えるが如何か。また、消雪パイプが敷設されている既設路線においても、老朽化により施設本来の効力が発揮されていない場合は機械除雪も必要と考えるが如何か。

**答弁** 消雪施設更新の目安として、整備から30年以上経過している施設を対象としているが、実際の散水状況等を確認のうえ、適宜、施設の更新を行っている。なお、次年度の施設更新については、豪雪だった今冬の稼働状況を検証した上で、更新箇所を精査する。消雪パイプの

## 介護保険の福祉用具購入費は受領委任払いにせよ

**質問** 当市では、介護保険を利用して福祉用具を購入した場合、全額一旦利用者が支払う償還払い制度となっている。利用者負担分だけ支払えば購入できるように受領委任払いとするべきでないか。

**答弁** 市民が滞滞なく用具が使えるように、受領委任払いの実施に向けて準備をすすめる。



## ◆その他の質問◆ 国保税の均等割の軽減について

効力が発揮できない路線については、必要に応じて機械除雪を実施している。

### 意見

1 消雪パイプに係る令和3年度当初予算は新設を抑えて修繕に重点を置いた配分となっている。これからも老朽化した施設や高齢化している地域へ更新の予算づけを。

2 70cm以上の積雪深があったのに豪雪対策本部が設置されなかった。設置されれば全庁的な対応が可能だった。



今冬の豪雪で埋まった消パイ敷設道路



公明党  
村上 清彦

## 情報弱者対策について

**質問** ICTの進化に伴う情報化社会の中で、情報端末を持たない、持っても使えない高齢者や、障がい者、外国人等への情報を伝える手段の多様化が求められている。生活上必要な情報はもとより、災害時には命を守る行動に影響を受けることが懸念されるため、各自治体では情報弱者への効果的な情報伝達について様々な取り組みが進められている。音声による避難情報を、登録している配信先の固定電話や携帯電話に一斉配信する方法。テレビ画面で各種情報を確認できる携帯通信網を活用したテレビを自動起動させるシステムや、防災メールの多言語化等が実施されている。情報伝達手段の多重化を図り、誰一人取り残さない取り組みを展開していただきたいが、市の対策を伺う。

**答弁** 災害等の緊急時においては、即座に情報を発信できるデジタル媒体の活用が有効であり、市としてもデジタル媒体による情報発信を強化しているところであるが、スマホ等の情報端末を持っていない方への伝達手段の確保が喫緊の課題となっている。対応として、防災行政無線での放送、広報車両による広報、各自治会長への電話連絡のほか、民生委員から見回り等を行っていただくことを考えている。情報弱者の方への支援については、家族や自主防災組織等により、要支援者に対する個別計画を作成するなど、地域で

情報伝達を補い、支え合う体制づくりが重要と考えており、防災塾や出前講座の開催等により、取り組みを支援してまいりたい。加えて携帯事業者等と協力・連携し、高齢者等のスマホ教室を開催することを検討している。



## 議会を傍聴しませんか

- 事前の申し込みは必要ありません。  
受付簿に住所と氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。
- \*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席の数を減らしております。
  - \*体調のすぐれない方の傍聴はご遠慮ください。
  - \*入室の際はマスクの着用と手指消毒にご協力ください。

本会議はインターネットでもご覧いただけます。  
こちらもぜひご利用ください。

- 手順は簡単です。  
\*スマホ・タブレットからも視聴できます。



### 利用の手順

1. 検索サイトで「阿賀野市議会 映像」で検索してください。  
または、  
こちらへ⇒



2. 会議名、議員名などから視聴したいものを選んでクリック!



傍聴席から見た議場

## 生中継 あります!

いつでも見られる録画もあります。

3月定例会では、平成16年に阿賀野市が誕生して以来はじめて、議長を除く全議員が一般質問を行いました。

4ページから7ページの議員氏名左側の二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、阿賀野市ホームページ内、市議会の映像配信のページでその議員の3月定例会での一般質問のやり取りが視聴できます。

1月29日に市PTA連絡協議会の皆さんと意見交換をしました。

質疑、意見の一部を紹介し  
ます。なお、掲載内容は要約し  
ていますのでご了承ください。  
詳しい内容は、  
市ホームページ「市議会の  
ページ」に掲載しています。



要 学習支援員を配置してほ  
しい。

答 令和3年度は、基礎学力の  
向上を図るため、小学校3校・  
中学校4校に学習支援教員を1  
人ずつ配置します。

要 SNSなどメディアとの関  
わり方について指導してほしい。  
答 トラブルや犯罪に巻き込ま  
れないように、講話や研修会を  
行います。

要 介助員の配置人数を増やし  
てほしい。  
答 県内他市町村と比べると、  
児童生徒数に対して平均的な介  
助員の配置割合となっています。



市PTA連絡協議会の皆さん14名が参加

要 コロナ禍対応（感染防止の  
ための学校現場への人的支援）  
について  
答 令和3年度は、小中学校兼  
務のスクール・サポート・スタッ  
フを2人配置する予定です。

要 新型コロナウイルス対策（空気清浄  
機の設置）について  
答 今後、温度・湿度・二酸化  
炭素濃度を常時測定できる機器  
を各教室に導入し、適切な換気  
に努めます。

要 学校施設の  
整備（交通事故、  
野生鳥獣被害の  
危険性の排除）  
について  
答 通学路の危  
険箇所は、道路



管理者に改善を求め事故防止に  
努めます。熊等の危険回避は、  
学校や市と連携し情報の共有や  
必要な対応を図ります。



議会報告会は感染症対策を徹  
底した上での開催となります。  
開催のご希望がありましたら、  
市議会議員または議会事務局へ  
ご相談ください。

いただいたご意見を参考  
に、政策立案等に役立  
ていきたいと考えていま  
す。



### 次回6月定例会の予定

月 日	会 議 名
5月24日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
6月 4日(金)	本会議(議案上程、一般質問)
6月 7日(月)	本会議(一般質問)
6月10日(木)	本会議(一般質問)
6月11日(金)	総務文教常任委員会
6月14日(月)	社会厚生常任委員会
6月15日(火)	産業建設常任委員会
6月17日(木)	本会議(委員長報告、採決)

5月24日の議会運営委員会で正式に決定します。  
その後、市ホームページでお知らせします。

### 新人議員研修会が 開催されました

1月20日に新人議員研修会が開催され、4月  
および10月に当選した新人議員8人が参加しま  
した。

議会改革推進特別委員会 宮脇雅夫政策部会  
部会長が講師となり、市議会の権限や議会運営  
などについて講義を行いました。



宮脇部会長作成の資料に沿って  
研修を受ける新人議員

### 議会の情報は 市ホームページを ご覧ください

<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>

本会議議事録や議員名  
簿、会議の日程が掲載さ  
れています。  
また、本会議を中継映  
像・録画映像でご覧にな  
れます。



※スマートフォン、  
タブレット端末  
でもご覧いただ  
けます。



### 編集後記



新年早々の大雪により、道路の除雪  
が対応しきれずに生活に支障がしまし  
た。市内全域を覆った雪が消え春本番  
の季節となり、農家は春作業が始まり  
ました。

市議会のメンバーも昨年の改選によ  
り若返りました。3月議会では、議長  
を除く議員全員が一般質問を行うとい  
う阿賀野市議会が始まって以来の事とな  
りました。市議会は議論を深めて活  
性化し、市の発展に努めてまいります。  
皆様のご意見・ご要望を寄せてくださ  
い。

広報広聴部会 副部会長 近山 修

議会改革推進特別委員会 広報広聴部会

部会長 松崎 良繼  
副部会長 近山 修

遠藤 智子  
村上 清彦  
岡部 直史  
清野 栄一  
天野 浩和  
荒澤 和

次号は令和3年7月15日発行の予定です。

発行：阿賀野市議会  
編集：議会改革推進特別委員会  
広報広聴部会  
〒959-2092  
阿賀野市岡山町10番15号  
TEL：61-2489  
FAX：61-2067  
E-mail：gikai@city.agano.  
niigata.jp